

発行／坂城町公民館 発行人／中島 敏 編集／広報部 印刷所／滝沢印刷（同）
〒 389-0602 長野県埴科郡坂城町大字中之条 2468 TEL.0268-82-2069



さかきふれあい大学専門講座 さかキッズくらぶ ～水辺編～開催

8月11日(金)、千曲川大望橋周辺で開催しました。

講師は前坂城町教育委員長・信州大学名誉教授の中村浩志先生で、千曲川に生息する生き物や魚などを川に入って捕まえたり、野鳥や河原の植物の観察をしたりしました。川では、ジンケン（オイカワ）・ハヤの稚魚・ザリガニやカワエビなどを、野鳥はサギの仲間などを確認しました。

内 容 : 2～4 P ふるさと探訪PART99

6～7 P 第62回成人式、行事から、500字リレートーク 他

5 P 行事から

8 P お知らせ

村上地区を通った中世の道(その1)

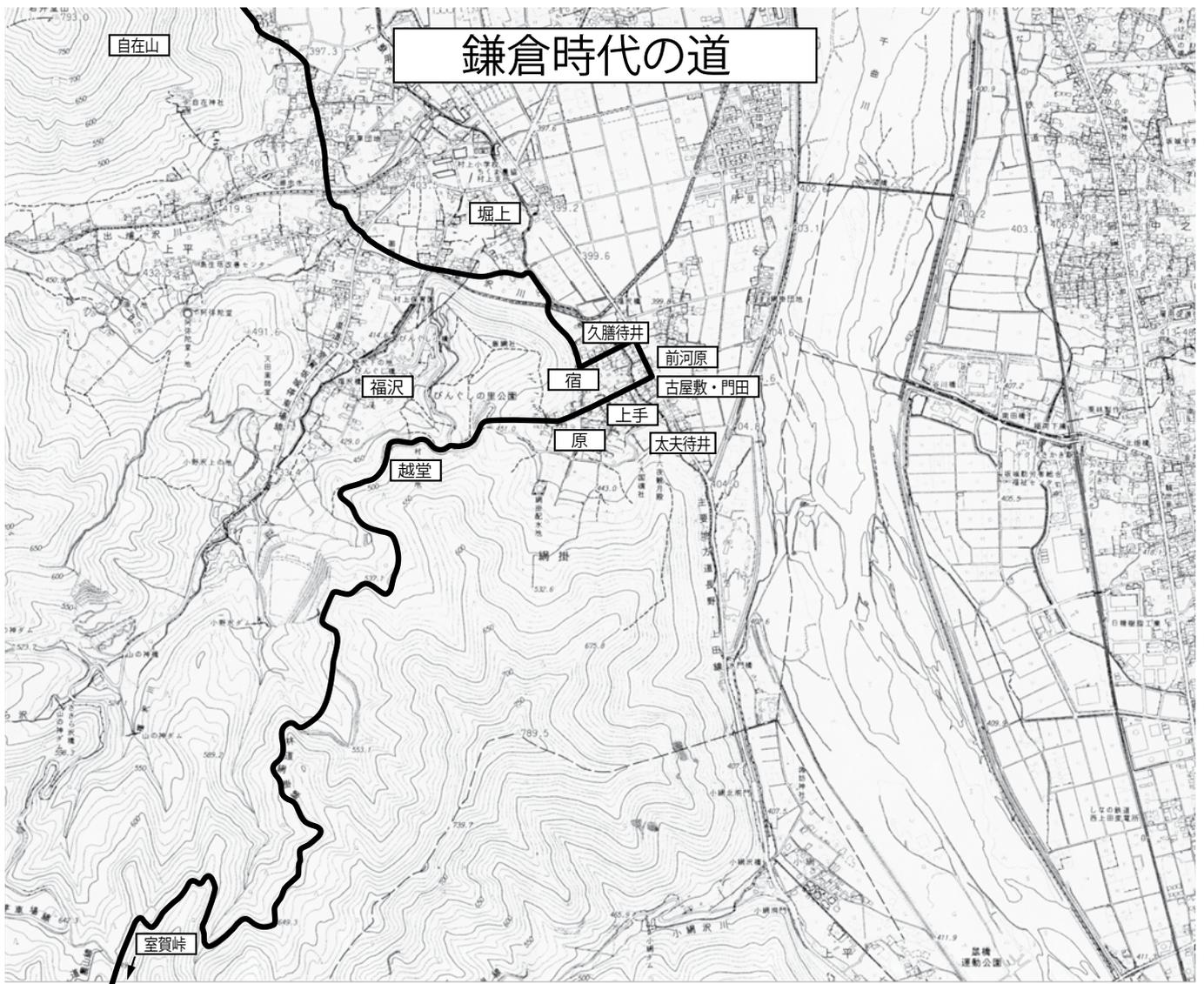
今回のふるさと探訪は、中世の街道の研究を長年続けている浅野井坦さんに寄稿していただきました。村上地区を通る中世の道を数回にわたり掲載します。

はじめに

二十年以上前、私は「公民館報さかき」の紙面にて「北国街道横吹物語」の題で五回にわたり、横吹新道建設にかかわることを記した。その後「鼠・塩尻間の昔の道」と題し、一九回に分けて地名や伝承をもとに連載した。ここでは戸倉の福井までの中世の道のことを記している。今回、千曲川左岸、村上地区を通った昔の道について記してみた。数回にわたり紹介する予定である。

問題になったこと

上田市上室賀の享保九年(一七二四)の検地帳に、「馬の口」の地名が出てくる。これは古代の宿駅入口を示すもので、おそらく東山道から分かれ、室賀峠を越えて北進する主要な道があったことがわかる。このころの幹線道路は直進するのが常だったことから、福沢を通って上平に達し、千曲川左岸を進んで善光寺を





昔の室賀峠頂上

宿の地籍範囲は広いが、本来の宿は用水の久膳待井から西へ一五〇mほど行った山際までの間である。

近世の宿場にあたる宿の地名が残っていることから、かつて網掛には主要な道があったことがわかる。室賀峠を越え福沢

を経て、越の国（越後）に通じていたと思われる。網掛は南と西を山に囲まれ、ごくありふれた集落である。日の入りは早く、対岸の坂城では半日村と評する人もいる。ここには上手・前田・古屋敷・宿の地名が残り、舟着場と伝えられる場所もあり、六ヶ郷用水の分岐点に「太夫待井」（殿待井）という名も残っている。現在は

におりてきた道は平坦になり、八〇〇mも北進すれば上平へと進んで行くのだが、なぜか東へ曲がり、また山に入る。越堂を通過して網掛の集落をまわり、三倍もの道のりをかけて上平へと進む。これらの道筋や、道の存在した理由などについて、地名や伝承、周辺の歴史的なことから試論として考えを記してみた。

当地をとりまく歴史的なこ

と
鎌倉時代、信濃の最初の守護は比企氏だった。しかし建仁三年（一二〇三）同氏は北条氏により滅ぼされ、守護は北条氏が代々務めるようになり、信濃には北条氏の勢力が拡大していった。

三代続いた源氏の将軍

源実朝が暗殺された後、朝廷の実権を握っていた後鳥羽上皇らと幕府は対立し、承久の乱（承久三年・一二二二）が起こり、幕府側の圧倒的な勝利に終わった。

後鳥羽・順徳・土御門の三上皇は流され、朝廷方についた者の所領は没収され、幕府は味方した御家人や身内人に分け与えた。

延応元年（一二三九）、幕府の執権北条泰時は、北条政子・亡き三人の将軍・北条一族の菩提をとむらうため、室賀の田地六町六反（六・六ha）を不断念仏料として善光寺へ寄進した。田地の面積から見ると、

おそらく室賀の谷すべての水田を寄進したと思われる。

建治三年（一二七七）幕府の連署（副執権）北条義政は三十六才の若さで突然出家し、職も投げだして善光寺へ向かった。執権の北条時宗は、それを思いとどまらせようとしたが、成功しなかった。義政は善光寺から小県塩田へ行き、そこを住居とした。これが塩田北条氏の始まりで、以後三代続いた。なお義政の父はかつて信濃守護でもあり、守護職はその子孫が受け継いでいた。

幕府第二位の権力者だった義政がここに住んだことにより、塩田の地は重要視されたようである。諏訪には「塩田道」の名が残る。これにより諏訪から塩田へ向かう重要な道があったことがわかる。同様に塩田から室賀峠を越え、北の善光寺に向かう左岸の道も重視されたと思われる。長野市の「後序」には国府の



奥へ行く道は室賀峠へ通じている。手前は県道160号上室賀坂城停車場線。上五明の旧家は昔ここで盆入りに火を灯したという。

奥へ行く道は室賀峠へ通じている。手前は県道160号上室賀坂城停車場線。上五明の旧家は昔ここで盆入りに火を灯したという。

支庁があり、後には戸倉の「小舟山」に信濃一國の守御所も置かれることになる。

網掛の道すじ(一)

越堂はそこに小堂のあったことから「堂」の字が用いられたとされ、本来は越道(戸)の用字で、低い峠を意味し、各地にそのような例がある。西教寺の寺伝によると、ここに

は真言宗の実成坊があった。それを法然上人三世の然阿良忠記主禪師が、浄土宗に改め西教寺の名にしたと伝わる。記主禪師は宝治二年(一二四八)ごろ善光寺へ参詣しているの、そのころのことと思われる。現在鎌倉に光明寺という大寺があるが、これは禪師が北条一族の大仏氏の援助を受けて建てたものである。

を下り、福泉寺の南へ出る。そこから六ヶ郷用水まで行くが、その南側一帯が「上手」である。現在「上手」は小面積となつていいるが、かつては「原」北辺の家を上手の家と呼んでいた。上手は「うわんで」とも読めるが、これは大手(正面)の意味と理解できる。用水に沿って北へ少し進むと、その東側が「前田」である。「前田」とは

館の主が下人などを使って手作りする田んぼのことで、上平島館の南や、四ツ屋にもその名が残る。いずれも面積は小さいものである。

水田に用いた小用水は県道の東側にあるが、至って

短い。分岐点の「太夫待井」の太夫とは、

五位の位階のことである。道は東へ曲がり公民館の前へと続く。昔の六ヶ郷用水は連続したものではなかったと伝わり、公民館の東はやや低く「前河原」の名が残る。

公民館の南東が上手の中の「古屋敷」である。県道のすぐ東に、後世に二十三夜塔が建てられたことから三夜塔の名も残る。古屋敷は古い屋敷地という意味も



東から見た「宿」

あるが、前田・上手・用水の取入口の名などから、館(居館)があつたところと考えられる。またここには「カドノタ」と呼ぶ水田もある。「門田」は鎌倉時代ではまっ先に開かれた水田を意味することから、その転訛かもしれない。

浅野井 坦



越堂



古屋敷全景、奥へ行く道は、上五明からのもので、近世は網掛舟渡で対岸へ通じ、上田へつながっていた。

春のスポーツ大会開催

5月21日(日)春のスポーツ大会を行いました。ソフトボール24チーム、ビーチボール30チームが熱戦を繰り広げました。結果は、次のとおりです。



試合結果

ソフトボールの部	優勝	準優勝
Aブロック	上平	金井
Bブロック	入横尾	四ツ屋
Cブロック	横町	月見
Dブロック	新地	上五明
Eブロック	中之条	御所沢

ビーチボールの部	優勝	準優勝
第1ブロック	横町A	立町A
第2ブロック	新地B	込山A
第3ブロック	四ツ屋A	横町B
第4ブロック	入横尾A	日名沢

納涼音楽会開催

今年も納涼音楽会を、坂城音楽愛好会と町公民館の共催で7月8日(土)に開催しました。

第39回目の開催となり、10団体の参加がありました。今回も坂城高校の参加があり、大変盛り上がった音楽会となりました。



分館役員研修会開催

6月21日(水)地域の特性を活かした、住民同士が関わり合う自主的事業の実践に学び、分館相互の情報交換を通して、今後の分館活動を推進するため、上平区長(元分館長)の山崎弘幸さんを講師に「上平地区『通学合宿』の取組」について研修会を行い、その後、地域課題等について分散会を行いました。

当日は、分館長さんをはじめ約80名の分館役員が参加され、住民の絆を深める取組について、活発な意見交換がされました。



さかきふれあい大学専門講座開催

エコクラフトテープで バッグを作ろう

6月29日(木)と7月6日(木)の2回にわたり、文化センターにおいて、エコクラフトテープでバッグを作る講座を行いました。牛乳パック等で再利用した手芸用の紙紐(クラフトテープ)を使い、折りたたんだり、編んだりして手さげバックを作りました。(15名参加)



子育て応援講座 「ベビーマッサージ♪」

7月13日(木)パパやママが1歳前後ぐらいまでの赤ちゃんに、ベビーマッサージを行う講座を開催しました。ベビーマッサージは赤ちゃんとの絆を深めるとされており、日々の育児に取り入れることができます。また、子育てについての相談もあり、親子で楽しむ講座となりました。(親子12組参加)



第62回 坂城町成人式開催

8月15日(火)坂城町成人式を開催しました。今年の成人式該当者は、平成8年4月2日から平成9年4月1日生で、169名でした。

新成人のみなさんのますますのご活躍とご多幸をお祈りします。



柳澤 恭平

成人のことば

本日は私共新成人のために山村町長ならびに多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。このたびの成人式に、新成人として参加できることはこの上のない喜びでありますとともに、この機会を通じて家族や友人、恩師など自分の成長を助けてくれた方々に感謝の念を抱いているところでもあります。ここに、新成人を代表して、今後の抱負を述べることよって成人のことばに代えさせていただきます。

まず、我々が育った時代を大局的に振り返ってみますと、世界の、世界に対する考え方が大きく変わった時代であるように思われます。先ほど山村町長のお話にもありま

したように、今日八月十五日は終戦記念日であります。近代の人類の歴史は戦争と科学技術の発達の歴史でありました。人類は十九世紀半ばから五十年かけて戦争の準備をし、五十年かけて戦争をし、五十年かけて仲直りをしました。一九八九年の東西冷戦の

終結とともに、この長い戦争の歴史は終焉を迎えました。その後一九九〇年代、世界は科学技術が牽引する平和な時代が訪れると楽観していました。そして、二〇〇一年、その楽観視を覆すように二機の旅客機が世界貿易センタービルに激突しました。また、

二〇一一年、この小さな国で起きた大地震が世界の科学技術に対する自信を大きく揺るがしました。この十八年間で世界の、世界自身に対する考え方が再び大きく変わったのであります。そんな二十二年間に我々は育ちました。しかしながら、これからのどのような方向に世界が進んでいくのかは誰にも知り得ないことでもあります。英国・米国が内向きになりつつある今こそ、我々自身が進んでいく方向を主体的に考え、国を、

平成23年度坂城中学校卒業時4クラス全員の先生に来ていただきました。



世界をリードしていかなくてはならない、それが我々若者に与えられた使命であるように思います。

ところで、成人して大人になるとはどういうことかと考えてみますと、その中の一つは、先ほど述べた主体的に考え判断することであるように思われます。しかしながら、

今までの経験を頼りに、状況に応じて自分の頭で考えることは難しいことです。加えて、インターネットと情報端末の普及によって、巨大な知にアクセスすることができるようになった我々は、思考よりも知識を偏重しがちで、この膨大な知識をもてあましています。このような時代ですが、教育や経験を礎にして、自分の頭で考え判断すること忘れてはなりません。そ

こに、大人として各人が責任を持つことの根拠があるように思われます。
最後に、個人的なことで大変恐縮ではありますが、私は大学を卒業後、この町に帰ってきたいと思っています。この坂城町から長野県を、日本を元気にしていきたいと思つています。今は他の町にいる、またこれからこの町を去るといふ人々にもいつかは非この町に戻ってきてほしい、一緒に



成人祭は、実行委員のみなさんによるレクリエーションにより大変盛り上がりました。

にこの町を盛り上げて行きたい、そう思っているところでもあります。
以上をもって成人のことばとさせていただきます。



成人式実行委員

- 木全 圭介さん (実行委員長)
- 西野人さやかさん (副実行委員長)
- 北澤 広大さん
- 羽毛田 悟さん
- 竹内 早弥香さん
- 水出 理樹さん
- 山崎 直紀さん
- 坂口 綾佑さん

500字リレートーク 自分流に！

田町 金子 万文 かずふみ

毎日サンデー(退職)となつて二年七ヶ月。当初はわずかばかりの田畑を耕しながら、趣味の釣りと山菜採りでもやり、ゆつくり第二の人生を楽しもうかと考えていました。しかし、現実はかなり理想とかけ離れたものとなつてしまいました。

田畑仕事では、春から秋まで、草との戦いの連続です。野菜作りの難しさを痛感していますが、見てくれは立派でなくても自分の育てた収穫物は、それなりにいいものです。

一方溪流釣りや山菜採りは、最近、命がけの一面を持つてしまいました。山の住人(熊や猪)達と人間との生活境界が壊れてしまひ、童謡の「森のクマさん」の様にはいなくなつてしまいました。それでも春の山菜や秋のキノコの時期になると足が山の方に向かうのは、不思議なものです。

暇を見つけては、岩魚との出会いを求めて溪流へも足を伸ばしてみたいと考えています。

また、現職中から携わっている地域ボランティア活動も、四年目に入り、どうにか動けるようになってきたところです。

身体の動くうちは私にできることを続けていければと考えています。自分流に！

次回は田町の川内一平さんにバトンタッチします。よろしくお願いします。



「クラシックコンサート」

ふだん敷居が高いと思われがちクラシックですが、「本格的な演奏でありながら、親しみやすい」コンサートを開催します。普段着でお気軽にお越しいただき、屋内楽を楽しみましょう。

日 時 10月28日(土)
午後2時～3時30分
場 所 坂城町文化センター 大会議室
受 講 料 無料
出 演 海野幹雄さん(チェロ)
海野春絵さん(ピアノ)
鶴木絵里さん(ソプラノ歌手)



人権を尊重し豊かな福祉の 心を育む町民集会

今年も一人ひとりの人権が尊重され、地域でふれあい、安心して行動できるように、標記集会を開催いたします。

日 時 12月9日(土)
午後1時30分～4時00分
場 所 坂城町文化センター 大会議室
受 講 料 無料
内 容 小学生人権作文の発表
記念講演 講師：ドリアン助川さん(作家・詩道化師)



今後の行事予定

《秋の行事》

- ◆運動会 → 10月 1日(日)
- ◆青少年健全育成交流会ウォークラリー大会 → 10月14日(土)
- ◆文化祭 → 10月28日(土)、29日(日)

《冬の行事》

- ◇スケート教室 → 11月11日(土)
(対象:小学校4年生～中学生)
- ◇スポーツ少年団交流大会 → 12月10日(日)
- ◇元旦マラソン → 1月 1日(元日)
(誰でも参加OK)
- ◇スキー・スノーボード教室 → 1月21日(日)
(対象:小学校4年生以上)
- ◇席書大会・書初展 → 1月4日(木)～6日(土)
- ◇ライフステージエコ2018 → 1月13日(土)
- ◇分館対抗球技大会 → 2月25日(日)
- ◇子ども茶の湯教室 → 3月 3日(土)
- ◇坂城町囲碁大会 → 3月18日(日)
- ◇坂城町将棋大会 → 3月25日(日)

生活改善で葬儀、婚儀を！

★案内状に同封する通知文は文化センター(公民館)にあります。

- 葬儀… 香典 1,000 円、法事 3,000 円
香典返しは半返し以内で。
花輪は辞退しましょう。
近親者はこの限りではありません。
- 婚儀… 祝儀(会費) 3,000 円
引き出物、記念品を出さない。
近親者はこの限りではありません。

説 館 開 かい 敵 ぜ

大分涼しくなってきた。庭のコウロギの鳴き声(羽をこする音)は、どんどん音量を増し、風流と言うより、少しうるさく感じるのは、私だけでしょうか。

戸あれ松虫が 鳴いている。
ちんちろ ちんちろ

ちんちろりん

あれ鈴虫も鳴き出した
りんりん りんりん

りーりんりん

秋の夜長を鳴き通す
ああおもしろい 虫の声

童謡『虫の声』で、スズムシはマツムシに続いて登場します。秋を代表する虫の声です。しかし最近では、家庭で飼育しているスズムシの鳴き声は聞きますが、庭先などで聞くことはほとんどなくなっています。

石垣の間や草むらから「リーン、リーン」と聞こえてくる風流を感じ

ることは、難しい昨今です。

ところが、突然木の上から「リー、リー」とスズムシのような声が聞こえてきました。スズムシも進化し、木の上で鳴くようになったのかと思ったのですが、違うようです。木の上でなくスズムシもどきがいるようです。

名前は、アオマツムシです。明治時代、輸入樹木(中国から?)に卵がうみつけれられ輸入されてしまったようです。その後街路樹から森へどんどん生息範囲を広げ、今では全国どこでも生息しているとのこと。

先日、文化センターの階段踊り場で、緑色の羽根のバッタのような昆虫を見つけました。調べてみますと、アオマツムシのメスでした。皆さんのご近所でも木の上からスズムシのような、アオマツムシの鳴き声が聞こえていませんか。

日本の風流、虫の声も、日本固有の昆虫ではない、外来昆虫の声が交っているようです。